

(参考資料) 「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」  
過去4回の議題及び主な議事内容

■第1回「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」

日時：平成12年11月14日（火）14:00～17:00

議事：

- (1) 既存データの整理等
  - ①植生について
  - ②アサザについて
  - ③霞ヶ浦の物理条件について
  - ④建設省・公団におけるこれまでの植生保全対策
- (2) 湖岸植生帯保全の方針と検討事項
  - ①基本理念
  - ②検討事項
- (3) アサザ保全の緊急対策

湖岸植生帯保全の基本理念

本検討会では次の基本理念に基づき、湖岸植生帯保全のために必要な検討を行い、具体的に実現可能な提案を行う。

1. 霞ヶ浦だけでなく流域全体の環境保全を目指す。
2. 霞ヶ浦固有の健全な生態系の保全・復元を目指す。
3. 持続性のある生態系の保全・復元を目指す。
4. 順応的な対策が可能な提案を目指す。
5. 科学的な立場からの保全対策の提案を行う。
6. 保全対策は学識者・住民との協働によって計画・実行する。

■第2回「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」

日時：平成13年2月14日（水）14:00～18:00

議事：

- (1) 本検討会の趣旨
- (2) 霞ヶ浦の環境の現状と変遷
  - ①湖岸堤について
  - ②湖岸植生の変化
  - ③波浪解析
  - ④水位変動パターンについて
  - ⑤霞ヶ浦の物理・化学的環境
  - ⑥アサザの生育環境
- (3) アサザ保全のための緊急対策及び系統保存について
  - ①緊急対策地区及び対策工について
  - ②湖外での系統保存について

## 検討会の構成メンバー（敬称略）

### ■学識経験者

山本晃一	座長	河川環境管理財団研究総括職
飯島 博		NPO 法人「アサザ基金」代表理事
石川忠晴		東京工業大学教授
桜井善雄		信州大学名誉教授
鷺谷いづみ		東京大学教授
西廣 淳		東京大学助手
尾澤卓思		独立行政法人 土木研究所 水循環研究グループ（河川生態） 上席研究員
中村圭吾		独立行政法人 土木研究所 水循環研究グループ（河川生態） 研究員
藤原宣夫		国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部 緑化生態研究室 室長
鳥居謙一		国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室 室長

### ■行政

前村良雄	国土交通省霞ヶ浦工事事務所長
遠藤信夫	水資源開発公団霞ヶ浦開発総合管理所長

### ■オブザーバー

国土交通省関東地方整備局  
水資源開発公団本社

### ■事務局

国土交通省 霞ヶ浦工事事務所  
水資源開発公団 霞ヶ浦開発総合管理所  
財団法人 河川環境管理財団

### ■第3回「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」

日時：平成13年5月21日（月）14:00～16:00

議事：

- (1) 緊急対策地区の最終構造についての中間報告
- (2) モニタリング計画について
- (3) その他
  - ①アサザの個体群の現状及びアサザ保全活動について
  - ②水位変動パターンと水生植物の生育の関係についての研究

### ■第4回「霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全に係る検討会」

日時：平成13年12月17日（月）14:00～16:30

議事：

- (1) 緊急対策工法の報告
- (2) 湖岸植生復元手法について
- (3) 緊急対策実施地区の維持管理について
- (4) 緊急対策実施箇所のモニタリングについて
- (5) その他

以上